# 第１７回昭島市総合基本計画審議会
# 議事要旨

＜ 日 時 ＞　令和３年９月 10 日（金）19:00～20:05

＜ 場 所 ＞　昭島市役所　市民ホール

＜出 席 者＞（敬称略）

【委員】

田中　啓之（会長／相模女子大学 人間社会学部 社会マネジメント学科）、前田　耕司（副会長／早稲田大学大学院 教育学研究科）、谷部　英治（昭島市農業委員会）、中島　岩雄（昭島市自治会連合会）、浅見　勇（昭島観光まちづくり協会）、日惠野　貴之（昭島六団体連絡協議会）、信行　賢順（連合東京多摩中央地区協議会）、水野　宏一（昭島市商工会）、杉田　一男（昭島市まちづくり委員会）、松本　祐一（多摩大学 産官学民連携センター）、山下　俊之（昭島市行財政改革推進会議）、赤田　輝子（公募市民）、和田　容子（公募市民）

【事務局】

永澤貞雄（企画部長）、萩原秀敏（政策担当部長）、村山純（企画政策課長）、滝瀬泉之（総合基本計画担当課長）、森田晃（企画調整担当係長）、萩原賢太郎（企画調整担当係長）

【策定支援事業者】

三浦洋平（(株）地域総合計画研究所）

【傍聴者】

１名

＜配付資料＞

**―机上配付―**

・日程
・昭島市総合基本計画（素案）差替え
・資料１　　今後のスケジュール
・資料２　　パブリックコメント実施要領

**―事前送付―**

・昭島市総合基本計画（素案）（2021.09.06 版）

＜議事要旨＞

## １　開会

## ２　会長挨拶

会長：

ただいまから、第 17 回総合基本計画審議会を開会いたします。それでは、議題に移る前に、本日、白川委員、荒井委員、安倍委員、河村委員から欠席の連絡、大田委員から遅刻もしくは欠席の連絡を受けておりますので、報告をさせていただきます。

次に、前回８月に行われました第 16 回審議会の議事要旨については、事務局から事前に配付されておりますが、何かお気づきの点等ございますか。

ご指摘の点などないようですので、第 16 回審議会の議事要旨は審議会で確認されたものとします。

## ３　議題

### （１）総合基本計画（素案）について

【　事務局より総合基本計画（素案）について説明　】

【　質疑　】

水野委員：

冒頭、総合基本計画と各計画の位置づけが示されたのはわかりやすい。新たな計画も入れるのであれば、時点が書かれているとよい。

基本構想４ページ、「注１、注２」の番号は、巻末に一覧として掲載されるのであれば通しで番号を振るのがよいが、各ページ下部に注釈が入るのであれば、それぞれのページで完結（番号は１～）でよいのではないか。

基本計画 22 ページ、年表は上段が全国のこと、下段が昭島市のこととわかるよう注釈が入れられるとよい。

基本計画 26 ページ、それぞれの項目で冒頭に要約が記載されわかりやすくなった。

事務局：

計画の位置づけについては、今回このような形で図示したいと考えている。時点（年次）の記載は検討する。一部「(仮称)」と記載した計画があるが、これらは今後策定予定のものとなっている。

ページ下部の注釈の入れ方は検討する。特に難しい単語にはページ内に注釈を入れるとともに、巻末にも一覧を掲載する予定である。

年表についてはご指摘いただいた通り、「日本」「昭島」といった記載を検討する。

副会長：

文中では、元号と西暦が併記されているが、一部統一されていない部分が見受けられる。計画である以上統一は図られた方がよい。表題も「令和４年度～令和 13 年度」となっているが、ここも西暦を併記する形で統一したほうがよいのではないか。

事務局：

最終的な製本に向け、校正を進める中で整理していく。表題については、「令和」を使用することで、新しい時代のイメージを表現したいという考えがあるが、いずれにしても、統一されていない部分は検討する。

会長：

「人材」と「人財」という言葉が用いられているが、違いはあるのか。

事務局：

「人材」と「人財」が混在しているのは、本市の人財育成基本方針において財産の「財」を使用しているため、職員に関することは「人財」とし、それ以外は「人材」としている。

中島委員：

冒頭の計画の位置づけでは 43 の分野別計画が示されているが、どの計画がどこにつながっているのか、どのような基準で並べられているのか、といったことがわからない。43 ある計画すべてを重点的に取り組むのか疑問である。

事務局：

分野別計画については、複数の基本施策にまたがるものもあるため、このような表現としている。並び順は市の組織の順となっているが、これにより大まかな分野ごとのまとまりとなっている。総合基本計画では大きな方針を示し、43 ある分野別計画でそれを具現化・補完していくため、すべての計画を推進していくことが必要であることをご理解いただきたい。

和田委員：

例えば下水道の計画などは３～４つあるが、それらがまとまって示されているだけでもわかりやすいものになっている。ただ、子どもに関する計画については、ページの左と右に別れて示されているところがわかりづらい。

中島委員：

具体的に「何を書いた方がいい」ということはないが、この計画の位置づけの部分はもう一度見直していただき、見やすいものとしていただきたい。市役所がしっかり取り組んでいることがわかるような資料になるとよい。

浅見委員：

分野別計画については、今回新たに加えられたものもあるのか。

事務局：

「デジタル化推進計画」は、これまで「情報化推進計画」という名前であったほか、「（仮称）」と書かれている計画が新しいものとなる。

水野委員：

基本計画 46 ページ、「数値目標」と書かれているが、あえて「数値」と記載されているのは

どのような意図か。

事務局：

ここは総合戦略の部分になる。総合戦略の方で外部の委員会があるため、そちらで「数値目標」というタイトルについては検討いただく。

**（２）市民説明会並びにパブリックコメントの実施について**

【　事務局より市民説明会並びにパブリックコメントの実施について説明　】

【　質疑　】

会長：

市民説明会は、会長として私のほか、中島委員、赤田委員の３名で対応させていただく。

中島委員：

パブリックコメントでどのくらい市民の意見を集められるかが重要になる。従来のパブリックコメントと比べ、今回特に工夫している点などはあるのか。

事務局：

多くの意見をいただきたいというのは我々も同じ考えである。広報・ホームページ・ツイッターにて周知し、冊子を各出張所、出先機関に配置するほか、ホームページでもダウンロードできるように準備している。加えて説明会を開催するということで、一通り打てる手は打ったところである。

中島委員：

例えば、市には様々な団体がある。そこに依頼し、いくつか意見をいただくだけでも違うのではないか。

事務局：

先日自治会連合会にはお願いをしたところである。各委員の所属団体等にもお知らせいただきたい。

松本委員：

パブリックコメントの用紙を拝見すると、個人情報となる「名前・住所」を書かなければいけない作りとなっており、そのことがハードルを上げているようにも思われる。このあたりが緩和されると書いてくれる人も増えるかもしれない。何か緩和できることはないか。

事務局：

これまでのパブリックコメントでは、無記名もしくは匿名で提出されたものもあるが、それらの意見も拾い上げてきたのが現状である。質問趣旨の確認が必要になる場合も想定し、氏名・連絡先を記入いただくこととしている。

日惠野委員：

パブリックコメントの回収方法などについて、個人の SNS の交流コミュニティを使い、閲

覧できるところまでの URL を流すだけでも意味があるかもしれない。そのような案内は行っても問題ないか。

事務局：

案内を行っていただくことは問題ない。是非お願いしたい。

## ４　その他

### （１）次回日程　第 18 回総合基本計画審議会

事務局：

次回、第 18 回審議会は、令和３年 10 月 29 日（金）午後７時から昭島市役所市民ホールにて開催する。

## ５　閉会